

割安株!



M&Aで急成長 増収増益のエンタメ会社



取締役
岡本 吉起氏

いまや2兆円を超える規模となった国内ゲーム市場においてひとときの存在感を見せる株式会社ケイブグループ。弾幕シューティングゲームのバイオオニアとして知られるが、企画・開発コンテンツは幅広く、アーケードやコンシューマー、オンライン、ソーシャルと多様なソフトを生み出す他、動画配信関連事業も手掛ける。

**独自性の高い
コンテンツで熱量の
高いファンを獲得**

ゲーム、ライブ配信、映像制作と多様なフィールドでサービスを展開する同社のコア事業が、シューティングゲーム領域で培った技術力と運営力、繊細な表現力を活かしたスマホゲームの企画・開発だ。2015年より配信され、シューティングゲームファンの間で人気を集める『ゴシックは魔法乙女』をはじめ、総DL数が55万を突破した『東方幻想エクリプス』、新作映画の公開が後押しになった『キングダム 乱 天下統への道』などヒットコンテンツを多く抱える。この夏には『ストリートファイターII』や『バイオハザード』シリーズの開発に携わった同社取締役・岡本吉起氏が総合プロデューサーを務める、新感覚バーティカルシューティング『メテオアリーナ』をリリース。特集番組の配信など、テレビ朝日と協働した多彩なプロモーションでも話題を集めている。

**モンスター開発会社の
買収でゲーム事業は
前期比82.8%増**

同社に大きな転機が訪れたのは2年前、国内モバイルゲーム収益でトップに輝く『モンスターストライク』の開発元として知られる株式会社でらゲーを買収したことだ。2022年の連結子会社化により、グループの収益力が強化され売上高、営業利益、経常利益が大幅に増加。2023年5月期に約70億、2024年5月期には前期比約76%増となる売上高122億円を記録した。買収時にストックオプションにかかる株式報酬費用が生じたが、以

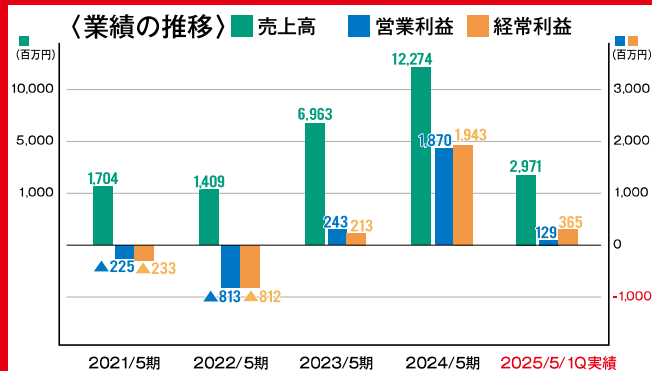
降は驚異的な業績改善を見せている。すでに子会社化の影響は十分表れているが、岡本氏は「今はまだ大きく飛ぶ前の踏み切り」の段階。今後も中長期的にシナジー効果が現れるだろう」と強い期待感を見せる。引き続き営業案件でも連携し、ユーザーに高い付加価値を与える施策を打ち出していく方針だ。

**カギは既存タイトルの
海外展開とWeb3.0
領域への投資**

さらなる成長戦略を描くうえで大きな核となるのが、海外市場の開拓だ。海外需要に応える新規ソフトの開発の他、人気IPのグローバル二次展開も強化し、認知度やブランド力を高めて新たな収益貢献を図る。AIを使った業務効率化への取組やWeb3.0領域にも積極的な姿勢で、ブロックチェーン技術を使ったゲーム開発による次世代型ゲー

DATA

注: データは2024年11月22日時点



株価 **1,088円**

POINT

2024年5月期末に15期ぶりに復配し、創立30年記念配当を加えた1株15円配当を実施した。2024年5月期のROEは35.6%であり、1株あたりの利益(2024年5月期)をもとに計算した11月22日時点の株価(1,088円)におけるPERは4.4倍と非常に割安だ。新規ゲーム開発や店舗型事業参入、M&Aなど、事業拡大のための投資が万全であることを考えると、今後も好業績の継続と高い成長性が期待される。

DATA

株式会社
ケイブ (東ス・3760)

東京都目黒区上目黒2-1-1
中目黒GTタワー8F

詳しくはこちら



ム体験の創出によってますますの事業拡大を目指す。レジェンドクリエイターが集結した新規プロジェクト「カミツクプロジェクト(仮)」をはじめ、開発中プロジェクトや受託案件も多数あり、さらには、昨年6月のM&Aによりグループに加わった「サクセスプラス」においては、大手企業からの継続的な受注獲得も見込まれる。独自性の高いプロダクト、十分な人的リソース、そして安定的な経営基盤。必要な「コマンド」がすべて揃った今、同社は次なるステージへと歩みを進める。